



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月8日

上場会社名 株式会社 井筒屋
コード番号 8260 URL <http://www.izutsuya.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 影山 英雄
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部 (氏名) 細迫 有文

TEL 093-522-3414

四半期報告書提出予定日 2020年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	8,915	46.3	741		801		836	
2020年2月期第1四半期	16,608	11.9	220	1.1	161	39.3	73	24.3

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 836百万円 (%) 2020年2月期第1四半期 101百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	73.05	
2020年2月期第1四半期	6.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	47,463	7,277	15.3	635.18
2020年2月期	50,339	8,113	16.1	708.21

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 7,277百万円 2020年2月期 8,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期				0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では業績に与える未確定要素が多いことから2021年2月期の連結業績予想は未定としております。なお、詳細はP3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	11,480,495 株	2020年2月期	11,480,495 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	23,438 株	2020年2月期	23,438 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	11,457,057 株	2020年2月期1Q	11,457,183 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性のある重要な要因は、当社グループを取り巻く商圏動向、公的規制、自然災害・事故、金利の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界各国の経済活動が大きく制限を受けるなど、景況感は急速に悪化しており、今後の先行きについても、極めて厳しい状況が続くものと思われまます。

百貨店業界におきましては、臨時休業や営業時間短縮、大型催事の中止など営業機会の縮小による入店客数の大幅な減少に加え、インバウンド需要が激減したことにより、全国的に総じて前年実績を大幅に下回る厳しい商況となりました。

井筒屋グループにおきましても、コロナ禍の影響による緊急事態宣言を受け、4月9日から5月15日までの37日間、本店および黒崎店におきまして、食品売場以外のフロアを休業いたしました。山口店やサテライトショップでも営業時間の短縮や休業など、極めて厳しい営業活動を余儀なくされました。

このような環境のもと、お客様のご要望に対応すべく、衛生商材をはじめとする生活必需品販売やオンラインショッピング体制の強化を図りました。また、食品宅配サービスのエリア拡大を行い、従来エリアの小倉北区に加え、新たに門司、戸畑、八幡東地区とサービス範囲を広げることでお客様への利便性向上に努めました。さらに、北九州市受託事業として、外出を自粛している市民の皆様への買物支援ならびに売上に影響を受けている地元飲食店の販路拡大支援のため、当社のオンラインシステムを活用し、市内に配送可能なデリバリーサービス「デリバリー北九州」を開始いたしました。お客様からは多くのお問合せならびにご注文をいただきました。

その後、緊急事態宣言解除を受け、本店・黒崎店ともに営業時間を短縮したままで、全館営業を再開いたしました。営業再開にあたっては、従業員への検温やマスク、フェイスシールドの着用を徹底、お客様へは検温・手指消毒の促進を行い、密な状態を避ける運営等を徹底しております。お客様にとって安心・安全にご利用いただける環境を整備し、地域小売業としての役割を果たすべく努めております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業や営業時間の短縮等の影響により売上高は8,915百万円(前年同期比53.7%)、営業損失は741百万円(前年同期は220百万円の営業利益)、経常損失は801百万円(前年同期は161百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は836百万円(前年同期は73百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,876百万円減少し、47,463百万円となりました。これは主に現金及び預金等が減少したことによるものであります。

負債については前連結会計年度末に比べて2,039百万円減少し、40,186百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少のため前連結会計年度末に比べて836百万円減少し、7,277百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言解除後に営業再開したものの、北九州市で感染者が新たに発生した影響等もあり、売上推移変動幅が大きく、今後の消費動向を推測するには至っておりません。現時点では業績に与える未確定要素が多いことから連結業績予想は未定といたしました。今後の新型コロナウイルス感染症拡大懸念が低下し、長期予測に目途が立ち次第、速やかに発表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,151	2,124
受取手形及び売掛金	1,663	1,308
商品	2,433	2,368
貯蔵品	20	19
その他	569	428
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,839	6,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,587	12,292
土地	24,011	24,011
その他(純額)	782	769
有形固定資産合計	37,380	37,073
無形固定資産	251	279
投資その他の資産		
差入保証金	2,143	2,119
その他	1,929	1,808
貸倒引当金	△205	△67
投資その他の資産合計	3,868	3,861
固定資産合計	41,500	41,214
資産合計	50,339	47,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,045	2,685
短期借入金	11,333	12,333
未払法人税等	126	42
前受金	7,396	7,678
その他の引当金	276	329
その他	3,502	2,897
流動負債合計	27,682	25,967
固定負債		
長期借入金	9,177	8,844
再評価に係る繰延税金負債	2,874	2,874
商品券回収損失引当金	792	813
退職給付に係る負債	947	877
資産除去債務	191	189
その他	559	620
固定負債合計	14,543	14,218
負債合計	42,225	40,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△20,061	△20,898
自己株式	△27	△27
株主資本合計	2,347	1,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	11
土地再評価差額金	5,766	5,766
退職給付に係る調整累計額	△14	△11
その他の包括利益累計額合計	5,766	5,767
純資産合計	8,113	7,277
負債純資産合計	50,339	47,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	16,608	8,915
売上原価	12,740	6,916
売上総利益	3,867	1,998
販売費及び一般管理費	3,647	2,740
営業利益又は営業損失(△)	220	△741
営業外収益		
受取利息	4	0
持分法による投資利益	32	48
協賛金収入	63	1
未回収商品券受入益	67	68
受取賃貸料	17	16
その他	52	30
営業外収益合計	238	164
営業外費用		
支払利息	104	97
売上割引	96	51
商品券回収損失引当金繰入額	46	53
その他	50	21
営業外費用合計	297	224
経常利益又は経常損失(△)	161	△801
特別利益		
固定資産売却益	28	—
資産除去債務戻入益	51	—
特別利益合計	80	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
固定資産除却損	178	0
特別損失合計	178	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62	△803
法人税、住民税及び事業税	6	14
法人税等調整額	△17	18
法人税等合計	△10	33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73	△836
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	73	△836

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73	△836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
退職給付に係る調整額	33	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	28	0
四半期包括利益	101	△836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101	△836
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。